

とどろき おおの はら ち く  
**森・大野原地区コミュニティ**

事務局だより ● 12月号

師走の候、年の瀬も押し迫り、気忙しい頃となりました。皆様お元気にお過ごしでしょうか。

12月22日は冬至でした。昼間の時間が最も短いこの日を折り返し点に日ごと日没が遅くなり、6月21日の夏至には今より2時間以上も昼間の時間が長くなります(…と神社庁の暦を片手に受け売りで書いていますが)どんなに世の中が揺らいでも、太陽の暦はどっしりと構えてくれていますね。



不動区・千室神社

ここで師走らしい話題をひとつ。上不動区・千室神社(右上写真)の注連縄を12月12日に新調するから見にきませんか？と総代・宮田英敏様からご連絡を頂きました。撮影は2日後になってしまいましたが、神社に立ってみるとやはり心がすーっと落ち着きます。立派な注連縄は宮田さん始め、ベテランの男性陣が早朝から協力して作り上げたそうです。こうして地元の方々の手で氏神様が守り継がれているのだと思いました。また境内に佇む高さ20mの大クスノキは樹齢830年超。まるでおじいちゃんがそこにいるかのような荘厳な静けさでした。

さて今号はこれまでタイムリーにご紹介できなかった秋からの話題を掲載させていただきます。どうぞご覧下さい。



R3.11.7 (日)

嬉野市消防団・秋季訓練

## 第5分団 不動ふれあい広場周辺で放水訓練



午前6:30、嬉野市消防団の秋季訓練として第5分団(山口豊・第5分団長)による放水訓練が行われました。第5分団は不動地区・下岩屋地区・上岩屋地区・大野原地区の団員で構成されており、8月の土砂災害では地元をよく知る組織力を活かして早期復旧に多大な貢献をされました。この日は川とプールから取水し、グラウンド上に中継・横断させたホースで互いに放水を実施。なかなか集合できない1年でしたが、皆で協力してホースを何度も巻いたり、重いポンプを車に積んだりとは息がぴったりでした。最後に中不動区宮崎区長から、災害対応への御礼の挨拶もありました。この後はさらに消防車巡回による防火広報が行われました。



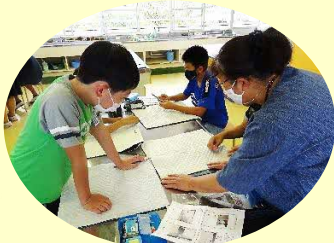
なお、湯野田区は大字下宿のため第4分団に属し、当日は第4-5分団(植松英樹・第4副分団長)として、新しい駅の方面で秋季訓練を実施されました。12/28・29は嬉野市消防団の年末警戒が各分団で行われます。寒い中ですがどうか安全に頑張ってください。団員の皆様いつもありがとうございます。



5年生はエプロン、6年生はナップサックを作りました。

轟小5年生(31名)・6年生(25名)の裁縫授業を補助するミシンサポーターの活動が4日間(2時間ずつ)行われました。

青木玲子様・池田富枝様・井上礼子様・太田嘉和様・岸川京子様・岸川さよ子様・田中セイ様・永末須賀子様がアイロンがけ、しつけ、ミシン作業、紐通し等を優しくご指導下さいました。大変お世話になりました。



(他に、塩田地区コミュニティ会長・岸川様、松尾事務局長様にもご協力頂きました。ありがとうございました。)

なお新年1月9日には原料「楮・こうぞ」収穫体験の催しがあるそうです。

昭和40年代に途絶えながらも有志の手により平成12年に復活した「手漉き和紙作り」を視察させて頂きました。約370年前から農閑期の生活を支えてきた紙漉きの歴史を保存会代表・筒井健一郎様、前代表・西野俊行様からご説明頂き、西野喜市様、伊東弘雄様、竹下茂様にもご指導頂いて、各自4枚の葉書を作ることができました。

俊行さんのお話からは、厳冬の中、頑張る親御さんの背中を追ってきた子供時代の思い出、単に和紙製造技術を保存するだけではない郷愁が伝わってきました。



こちらも後継を案じながらの活動です。市内の小学生も体験に訪れているそうですので、将来やってみたい！と思うきっかけになってほしいと思います。



R3.12.12 (日)

青少年育成部会 轟小5年生親子行事

**「注連縄づくり」 みんな上手にできました！**

午前中、轟小体育館にて恒例の注連縄作りを行いました。参加は轟小5年生親子の皆さん、今回は大野原小から12名の子供達・保護者様・先生方の合流も叶いました。轟小学年部長の山口様には「大野原の子供達とは保育園で一緒だったので楽しみ」と歓迎頂き、伊東博幸部会長からは「ほとんどの人が初めてでしょうから失敗してもその過程を楽しみましょう」と激励！大山佐吉様よりワラ提供とご指導、青木保様にもご指導頂き立派な注連縄を作ることができました。ご参加の皆様、ご協力に感謝致します。どうぞ良いお年をお迎え下さい。

